



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 オイシックス・ラ・大地株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3182 URL https://www.oisixradaichi.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部 (氏名) 松本 浩平 (TEL) 03-6867-1149  
 本部長 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA(※1)		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	55,450	△1.3	1,672	△50.0	2,771	△33.8	892	△58.6
2022年3月期第2四半期	56,167	18.1	3,347	△15.8	4,188	△10.5	2,156	△12.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,439百万円(△37.8%) 2022年3月期第2四半期 2,312百万円(△2.8%)  
 (※1) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	24.42	—
2022年3月期第2四半期	59.00	58.97

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	57,909	25,361	40.9
2022年3月期	52,634	23,872	42.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,674百万円 2022年3月期 22,132百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	5.7	4,500	7.9	6,500	4.6	2,500	△8.3	68.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	38,028,092株	2022年3月期	38,014,892株
2023年3月期2Q	1,469,875株	2022年3月期	1,469,831株
2023年3月期2Q	36,553,704株	2022年3月期2Q	36,540,492株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの新規感染者数の感染状況による変動を伴いつつも、継続した経済活動制限の緩和や、外食・外出などの消費活動の持ち直しが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢に起因する物価高や急激な円安進行など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

一方、国内の小売市場においては、継続的な外出自粛要請やリモートワークの普及などのライフスタイルの変化により、オンライン経由の購買行動は定着化しつつあり、お客様の新しい生活スタイルに対応した食品宅配に対する消費者の需要は引き続き高い状態が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいては、食を支えるインフラ企業として、安定的な出荷キャパシティや商品サプライの確保に取り組むとともに、お客様の家庭での食の在り方が大きく変化する中で、Afterコロナにおけるお客さまの潜在的ニーズをいち早く捉え、満足していただける商品・サービスを提案してまいります。また、経営戦略の柱である「国内宅配事業の成長・収益力強化」に向け、カスタマーエクスペリエンスの進化およびローコストオペレーションの取組みの実行、また国内宅配事業で培ったノウハウを活かし「国内B2Bサブスク事業」や「イノベティブプロダクト事業」など非連続な成長に向けた事業ポートフォリオの拡張、「サステナブルリテール戦略」に基づいたフードロスの削減や温室効果ガス削減への取組みを強化しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は55,450百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は1,672百万円(前年同期比50.0%減)、EBITDAは2,771百万円(前年同期比33.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は892百万円(前年同期比58.6%減)となりました。

なお、当社は2022年8月29日開催の取締役会において、シダックス株式会社(東京証券取引所スタンダード市場、証券コード 4837)の普通株式を金融商品取引法による公開買付けにより取得することを決議し、2022年8月30日から2022年10月24日までの期間で公開買付けを実施しております。

#### ① 宅配事業(O i s i x)

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業を行うO i s i xは、共働きの子育て世代を主要ターゲットとし、プレミアムな時短を実現する商品、サービスを提供しております。会員数については、継続して新規獲得は効率を注視しながら費用を投下しており、前連結会計年度末(2022年3月末)の346,083人から、当第2四半期連結会計期間末(2022年9月末)には355,962人へと約10,000人の増加となりました。

セグメント利益は、前第4四半期連結会計期間に発生した新物流センターへの移転トラブルからのリカバリー施策や、収益力強化の施策は順調に進捗しているものの、感染症拡大影響によるARPU上昇がみられた前年同期と比べ減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	28,458百万円(前年同期比 0.4%減)
セグメント利益	3,821百万円(前年同期比 5.5%減)

#### ② 宅配事業(大地を守る会)

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う大地を守る会は、シニアの二人暮らし世帯を主要ターゲットとし、「ちゃんとした食生活」のコンセプトの元、ターゲットニーズに沿った新サービスの開発、磨き上げに注力しております。前年より継続して、シニア層が手軽に健康実感できるコースである「まるごはん」を活用した新規獲得のチャレンジを行っております。会員数は、前連結会計年度末(2022年3月末)の45,534人から、当第2四半期連結会計期間末(2022年9月末)には44,092人へと減少しております。

また、売上高については、手軽に野菜を摂取できる商品・サービスの開発強化などの施策により、当初計画の想定に対してARPUは順調に推移しているものの、感染症拡大影響によるARPU上昇や会員数の下支えがみられた前年同期の売上高と比べ減少しております。セグメント利益については、売上高減少に伴い事業活動による利益は減少しましたが、2017年の株式会社大地を守る会買収に関連したのれん償却が前連結会計年度で終了し、償却負担が減少し増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	6,141百万円(前年同期比 7.4%減)
セグメント利益	1,188百万円(前年同期比 3.8%増)

③ 宅配事業(らでいっしゅぼーや)

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うらでいっしゅぼーやは、料理を通じて社会貢献をしたい世帯を主要ターゲットとし、「ふぞろいRadish」などの商品、サービス開発を進めております。会員数については、「ふぞろいRadish」を活用した新規獲得が好調に進捗し、前連結会計年度末(2022年3月末)の65,093人から、当第2四半期連結会計期間末(2022年9月末)には66,230人へと増加しております。

また、売上高については、当初計画の想定に対してARPUは順調に推移しているものの、感染症拡大影響によるARPU上昇がみられた前年同期と比べ減少しております。セグメント利益については、感染症拡大影響によるARPU上昇がみられた前年同期と比べ減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	8,370百万円(前年同期比 4.1%減)
セグメント利益	1,126百万円(前年同期比 1.5%減)

④ 宅配事業(Purple Carrot)

米国で、ヴィーガンに特化したミールキットの宅配事業を展開するPurple Carrotは、米国における経済活動の再開をうけ、売上高は会員数が前第1四半期会計期間をピークとして段階的に減少しております。一方、セグメント利益については、5月からの商品値上げの効果もあり、改善傾向がみられるものの、前年同期比では、売上減影響、原材料や人件費のインフレ影響により減少しています。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,171百万円(前年同期比 6.6%減)
セグメント損失	173百万円(前年同期比 -%)

⑤ その他事業

当セグメントは、ソリューション事業、店舗事業、海外事業(Purple Carrotを除く)、卸事業等からなるその他事業であります。

食品宅配需要の上昇により、他社EC支援(ISETAN D00R、dミールキット)などのソリューション事業の会員数が増加したことや、前年同期に新型コロナウイルス感染症のマイナス影響を受けた保育園卸・水産品卸(豊洲漁商産直市場)などの卸事業の業績が回復、伸長したことにより、全体では売上高・セグメント利益ともに大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	7,958百万円(前年同期比 15.2%増)
セグメント利益	759百万円(前年同期比 0.7%増)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して5,275百万円増加し、57,909百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して4,639百万円増加し、33,154百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加3,977百万円、未収入金の増加148百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して635百万円増加し、24,755百万円となりました。これは主に、投資その他の資産の増加729百万円、有形固定資産の減少287百万円、無形固定資産の増加186百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して3,785百万円増加し、32,547百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して4,090百万円増加し、20,005百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加4,000百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して305百万円減少し、12,542百万円となりました。これは主に、リース債務の減少274百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して1,489百万円増加し、25,361百万円

となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益892百万円、為替換算調整勘定の増加598百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、17,008百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,294百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,406百万円、減価償却費974百万円、のれん償却額124百万円、売上債権の減少額186百万円、未収入金の増加額148百万円、仕入債務の増加額133百万円、未払金の減少額872百万円、法人税等の支払額99百万円、供託金の預け入れによる支出800百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,356百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出207百万円、無形固定資産の取得による支出371百万円、投資有価証券の取得による支出180百万円、関係会社株式の取得による支出669百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、3,629百万円となりました。これは主に短期借入れによる純増加額4,000百万円、長期借入金の返済による支出20百万円、リース債務の返済による支出352百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日付「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,071	17,048
売掛金	8,964	8,781
商品及び製品	1,950	1,910
仕掛品	83	83
原材料及び貯蔵品	532	625
未収入金	2,927	3,075
その他	1,217	1,837
貸倒引当金	△232	△208
流動資産合計	28,514	33,154
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	12,330	12,002
その他(純額)	4,152	4,192
有形固定資産合計	16,482	16,195
無形固定資産		
のれん	1,261	1,362
その他	2,271	2,357
無形固定資産合計	3,533	3,719
投資その他の資産	4,103	4,840
固定資産合計	24,119	24,755
資産合計	52,634	57,909
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,188	6,419
短期借入金	1,010	5,010
1年内返済予定の長期借入金	39	33
リース債務	692	707
未払金	5,855	5,153
未払法人税等	226	744
契約負債	250	279
賞与引当金	—	1
ポイント引当金	151	142
その他	1,501	1,514
流動負債合計	15,914	20,005
固定負債		
長期借入金	101	86
リース債務	11,956	11,681
役員退職慰労引当金	8	8
資産除去債務	561	552
繰延税金負債	29	24
その他	190	188
固定負債合計	12,847	12,542
負債合計	28,762	32,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,994	3,995
資本剰余金	8,015	8,016
利益剰余金	14,448	15,369
自己株式	△4,503	△4,503
株主資本合計	21,954	22,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	35
為替換算調整勘定	160	759
その他の包括利益累計額合計	177	795
非支配株主持分	1,739	1,687
純資産合計	23,872	25,361
負債純資産合計	52,634	57,909



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	56,167	55,450
売上原価	28,599	28,523
売上総利益	27,568	26,926
販売費及び一般管理費	24,221	25,254
営業利益	3,347	1,672
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取補償金	8	9
補助金収入	13	7
資材リサイクル収入	3	3
償却債権取立益	12	6
その他	12	14
営業外収益合計	50	40
営業外費用		
支払利息	20	58
為替差損	8	—
持分法による投資損失	92	191
その他	3	56
営業外費用合計	125	306
経常利益	3,272	1,406
税金等調整前四半期純利益	3,272	1,406
法人税、住民税及び事業税	1,014	627
法人税等調整額	141	△42
法人税等合計	1,155	584
四半期純利益	2,117	821
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	△70
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,156	892

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,117	821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	20
為替換算調整勘定	193	598
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	195	617
四半期包括利益	2,312	1,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,351	1,510
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	△70

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,272	1,406
減価償却費	549	974
のれん償却額	290	124
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11	△23
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	20	58
為替差損益(△は益)	△0	1
持分法による投資損益(△は益)	92	191
売上債権の増減額(△は増加)	△556	186
未収入金の増減額(△は増加)	△334	△148
棚卸資産の増減額(△は増加)	△150	17
仕入債務の増減額(△は減少)	390	133
未払金の増減額(△は減少)	△610	△872
未払費用の増減額(△は減少)	△57	△22
その他	△489	171
小計	2,429	2,200
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△2,326	△99
供託金の預入による支出	—	△800
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>96</b>	<b>1,294</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,299	△207
無形固定資産の取得による支出	△322	△371
投資有価証券の取得による支出	△306	△180
関係会社株式の取得による支出	—	△669
敷金及び保証金の差入による支出	△399	△4
敷金及び保証金の回収による収入	0	80
その他	△0	△3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,328</b>	<b>△1,356</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△26	△20
株式の発行による収入	2	2
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△13	△352
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△37</b>	<b>3,629</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	405
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△2,222</b>	<b>3,974</b>
現金及び現金同等物の期首残高	15,552	13,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,330	17,008

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を 守る会)	宅配事業 (らでいっし ゅぼーや)	宅配事業 (Purple Carrot)	計			
売上高								
日本	28,580	6,628	8,732	—	43,941	6,322	—	50,263
米国	—	—	—	5,511	5,511	—	—	5,511
その他	—	—	—	—	—	392	—	392
顧客との契約から生じる収益	28,580	6,628	8,732	5,511	49,453	6,714	—	56,167
外部顧客への売上高	28,580	6,628	8,732	5,511	49,453	6,714	—	56,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	25	25	196	△221	—
計	28,580	6,628	8,732	5,536	49,478	6,911	△221	56,167
セグメント利益	4,045	1,144	1,143	811	7,145	753	△4,551	3,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業(Purple Carrotを除く)・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を 守る会)	宅配事業 (らでいっし ゅぼーや)	宅配事業 (Purple Carrot)	計			
売上高								
日本	28,458	6,141	8,370	—	42,970	6,852	—	49,822
米国	—	—	—	5,150	5,150	—	—	5,150
その他	—	—	—	—	—	476	—	476
顧客との契約から生じる収益	28,458	6,141	8,370	5,150	48,120	7,329	—	55,450
外部顧客への売上高	28,458	6,141	8,370	5,150	48,120	7,329	—	55,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	20	20	629	△649	—
計	28,458	6,141	8,370	5,171	48,141	7,958	△649	55,450
セグメント利益又は損失 (△)	3,821	1,188	1,126	△173	5,963	759	△5,050	1,672

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・海外事業(Purple Carrotを除く)・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。